

投稿規定 (2014年1月1日改訂)

論文の募集と採否

(1)『病院』は“よい病院はどうあるべきか”を研究する雑誌です。内容は病院医療に関する「研究と報告」「レポート」「オピニオン」を募集します。

(2)投稿論文の採否は編集会議で決定いたします。審査の結果、原稿の加筆、削除、修正などをお願いすることがあります。また編集委員会の責任において多少字句の訂正をすることがあります。

(3)国内外を問わず他誌に掲載されたもの、掲載予定のもの、投稿中のもの、webサイトに収載または収載予定のものはご遠慮ください。

執筆要項

(1)募集欄および原稿枚数は下記のとおりです。規定の枚数を超えた論文は採用いたしません。また、投稿の際に掲載希望欄を明記し、いずれも400字以内の論文要旨と5個以内のkey wordsを添付してください。

(2)掲載欄名および原稿枚数

【研究と報告】

内容●病院の管理・運営等に参考になる研究報告を求めます。調査報告の場合は、目的、方法、結果、考察、まとめなどを分けて、論叢や総説の場合は、論旨を簡潔に記述してください。

原稿枚数●8,000字以内。写真・図・表(1点につき400字換算)を含む。

【レポート】

内容●各施設や部門での現場における問題意識に基づく取り組みをご紹介します。形式は問いませんが、取り組みの目的、方法などは簡潔に記述してください。

原稿枚数●4,000字以内。写真・図・表(1点につき400字換算)を含む。

【オピニオン】

内容●特集企画全体や掲載された論文などに関して、ご意見・情報をお寄せください。形式は問いません。

原稿枚数●2,000字以内。写真・図・表(1点につき400字換算)を含む。

(3)表題は内容を簡潔に明示するものとし、筆者名(ふりがなも)、所属、連絡先(住所、TEL、FAX、e-mail)を和文・英文ともに明記してください。

(4)共著の場合は校正者を指定してください。著者校正は原則として1回です。

(5)原稿は横書きで、専門用語以外は当用漢字、現代かなづかいを用いてください。また、行間を5mm以上あけてA4判大にプリントし、全体の文

字数を明記してください。論文データはCD-Rなどの記録メディアに保存し、原稿とともに送ってください。

(6)用語はできるだけ日本語に統一してください。ただし外国語名(人名、薬品名など)は原語のまま用い、固有名詞の頭文字は大文字にしてください。日本語化しているものはカタカナとします。国名はカタカナ、数字は算用数字を用いてください。略語にはフルスペルを併記してください。

(7)論文執筆に際して他著作物からの図表転載は、著作権保護のため、原作出版社および原著者の許諾が必要です。予め許諾を得てください。許諾願いの参考フォーマットを弊社webサイトに収載しておりますのでご参照ください。

<http://www.igaku-shoin.co.jp/misc/kyodaku/kyodaku.html>

(8)論文審査のため、原稿は2通お送りください。掲載済み原稿は原則として返却いたしません。

文献の記載

(1)文献は本文中に引用されたもののみを挙げてください。

(2)文献の記載順序は引用順とし、文末に掲出してください。本文中の引用箇所には肩番号を付して照合してください。

(3)文献の書き方は次のように統一してください。なお、版数は2版以上の場合にお付けください。

日本の雑誌文献●著者名(共著の場合はカンマでつなぐ。3名以上は「筆頭者,他」):論文タイトル—サブタイトル。雑誌名 巻数(号数):論文始まり頁—終わり頁,発行年

海外の雑誌文献●著者名(共著の場合はカンマでつなぐ。3名以上は「筆頭者, et al」):論文タイトル;サブタイトル。雑誌名 巻数(号数):論文始まり頁—終わり頁,発行年

日本の単行本●著者名:書籍タイトル—サブタイトル,版数。pp引用始まり頁—終わり頁,出版社名,発行年

海外の単行本●著者名:書籍タイトル;サブタイトル,版数。pp引用始まり頁—終わり頁,出版社名,出版社所在地,発行年

翻訳書●原著者名,原書発行年/翻訳者名:翻訳書タイトル—サブタイトル,版数。pp引用始まり頁—終わり頁,出版社名,発行年

編集書籍の一部●章の著者名:章のタイトル—サブタイトル。書籍編者名:書籍タイトル—サブタイトル,版数。出版社,章の始まり頁—終わり頁,発行年

海外の編集書籍の一部●著者名:章のタイトル;サブタイトル。In:書籍編者名:書籍タイトル;サブタイトル,版数。pp章の始まり頁—終わり頁,出版社名,出版社所在地,発行年

ウェブサイトの引用●著者名:タイトル。発表年引用元のURL(URL確認年月日)

掲載誌と別刷

(1)著者には掲載誌1部と別刷30部を贈呈いたします。

(2)贈呈分以上の別刷をご入用の場合は、50部単位で実費作成いたします。著者校正の際、注文票に必要部数をご記入ください。

著作権について

本誌に掲載する著作物の複製権、上映権、公衆送信権、翻訳・翻案権、二次的著作物利用権、譲渡権などは医学書院に譲渡されたものとします。著作者ご自身のこれらの権利を拘束するものではありませんが、再利用される場合には事前に弊社あてにご一報ください。投稿にあたっては「著作財産権譲渡同意書」を原稿に添付してください。

原稿送付先

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23
株式会社医学書院『病院』編集室
TEL:03-3817-5719 FAX:03-3815-7802
byoin@igaku-shoin.co.jp

[参考:文献記載法]

日本の雑誌文献

秋山剛,他:NTT東日本関東病院のJCI再受審への取り組み—医療の質の向上を目指して。病院72(1):45-49, 2013

海外の雑誌文献

Brennan TA, et al: Incidence of adverse events and negligence in hospitalized patients: Results of the Harvard Medical Practice Study I. N Engl J Med 324:370-376, 1991

日本の単行本

大磯義一郎,他:医療法学入門。pp66-69,医学書院, 2012

海外の単行本

Venkat R, Francis G: The Power of Co-Creation: Build It with Them to Boost Growth, Productivity, and Profits. pp128-148, Simon and Schuster, New York, 2010

翻訳書

ジェームズ・リーズン(著), 1997/塩見弘(監訳):組織事故。p123,日科技連, 1999

編集書籍の一部

藤森研司,他:診療プロセスと臨床評価。松田晋哉,伏見清秀(編):診療情報による医療評価—DPCデータから見る医療の質。pp57-82,東京大学出版会, 2012

海外の編集書籍の一部

Sykes N: Palliative Care at the End of Life. In: Mitsumoto H, et al (eds): Amyotrophic Lateral Sclerosis. pp783-798, Taylor & Francis Group, New York, 2005

ウェブサイトの引用

厚生労働省医政局指導課:在宅医療・介護あんしん2012。2012
www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryoku/iryoku/zaitaku/dl/anshin2012.pdf

(URL確認2013.8.9)

著作財産権譲渡同意書

(株)医学書院 殿

論文名

上記の論文は、下記に記した全著者が共同して書いたものであり、今までに他の雑誌に掲載されたり、あるいは他の雑誌に投稿中でないことを誓約いたします。

この論文が「病院」に掲載された場合は、その著作財産権を(株)医学書院に譲渡することに同意します。

筆頭著者署名 (年 月 日)

共著者名 (年 月 日)

〃 (年 月 日)

〃 (年 月 日)

〃 (年 月 日)

〃 (年 月 日)

〃 (年 月 日)

〃 (年 月 日)

〃 (年 月 日)

注：全著者の名前を筆頭著者（署名）、共著者の順に列記して下さい(捺印は不要です)。

本頁をコピーしてご利用ください。